

2019年度

(公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞 同窓会奨励賞 クラブ愛知賞 資格試験合格者奨励賞

愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2020年3月7日(土)10:45~12:15

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

※2019年度奨励賞授与式は、新型コロナウイルス感染症拡大のため安全面を配慮し、中止いたしました。

プログラム

- | | |
|---|--|
| 一. 開式 | 一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞 試験結果報告 愛知大学 キャリア支援センター 委員長 吉川 剛 奨励賞授与 愛知大学 学長 川井伸一 |
| 一. 挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲 | 一. 受賞者代表謝辞 公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表 後援会奨励賞受賞者 代表 同窓会奨励賞受賞者 代表 |
| 一. 挨拶 愛知大学 学長 川井伸一 | 一. 閉式 |
| 一. 後援会奨励賞 選考結果報告 愛知大学学生部 委員長 鈴木康志 奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 山田哲也 | |
| 一. 同窓会奨励賞 選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 八木好郎 奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長 土井義昭 | |
| 一. クラブ愛知賞 選考結果報告及び授与 クラブ愛知 会長 服部晋吾 | |

● 最優秀奨励賞

個人

おおた きぬか
太田 衣香氏 | 平成24年経済学部卒

国際的な試合でテニスの審判員（日本人として2人目のブロンズバッジ）として活躍

推薦趣旨 太田衣香さんは、大学在学中から硬式庭球部に所属、女子部員が少ない中、一生懸命に部活動に取り組みました。

また、地元の豊田市テニス協会にも所属、その縁で、当時豊田市で開催されていた国際大会にスタッフとして参加、審判員としてもお誘いを受け、日本テニス協会認定の審判員資格を所得しました。

卒業直前から試合のラインアンパイア（線審）として活動をスタート、卒業後はアルバイトをしながら、色々な試合を回り、経験を積みました。

さらに活動の場を広げるため、国際テニス連盟（ITF）の審判資格（ホワイト）も所得、現在では「ウインブルドン」などの4大大会をはじめ、年間160試合以上に主審として活躍、1年の半分は海外に滞在されています。

ITFにおける審判資格は、ホワイト、ブロンズ、シルバー、ゴールドと4つのバッジとなっており、日本人ではホワイトが10数人だけ、ブロンズに至ってはわずか2人という狭き門です。そのような状況のなか、太田さんは、昨年見事に日本人として2人目のブロンズバッジに合格、国際大会でもチェアアンパイア（主審）を務めるまでとなりました。

太田さんの活動は、まさに愛知大学の建学の精神に沿ったグローバルな活動であり、硬式庭球部のみならず大学の名誉を大きく高めたものであり、最優秀奨励賞に値すると確信します。

略歴 ◆ 2008年 愛知県立豊田南高等学校卒業。2012年 愛知大学経済学部卒業。日本テニス協会B級審判員資格取得。2016年 国際テニス連盟（ITF）公認審判員資格（ホワイト主審）取得。2019年 ITF 国際テニス審判員資格（ブロンズ主審）取得。

四大大会勤務歴 ◆ 2017年 ウインブルドン。2018年 オーストラリアンオープン、ウインブルドン、US オープン。2019年 オーストラリアンオープン、ウインブルドン、フレンチオープン、US オープン。2020年 オーストラリアンオープン（車椅子女子ダブルス、ジュニア女子シングルス決勝主審）、フレンチオープン採用決定、オリンピック・パラリンピック採用決定。



かない なつみ
金井 夏美氏 | 平成29年国際コミュニケーション学部比較文化学科卒

テコンドーサークルを設立し、オーストラリアワールドカップで銅メダル獲得

推薦趣旨 テコンドー競技初心者でありながら、大学入学後にテコンドーを始め、サークルを創立し初代主将として奮闘。以来、数々の実績を積み重ねてサークルを公認団体へと導く。

2017年に卒業後も、現役選手として活動を続け、2018年にオーストラリアで開催されたテコンドーワールドカップでは型、組手の2種目で見事銅メダルを獲得。

また、卒業後も愛知大学で指導を続け、毎年開催される全日本学生大会では創立以来全ての年代で総合優勝5連覇を成し遂げる強豪チームへと導いている。

さらに2019年10月に初段を獲得以降、日本 ITF テコンドー協会から正式な指導員として公認され、愛知大学のみならず、他大学の学生に対しても指導を続けている。

これらの実績が認められ、2019年度の同窓会報で紹介され、西尾支部総会にて講演を行った。サークル創立時の苦労や軌跡をたどった講演会は反響を呼び、西尾支部のみならず、安城支部でも講演会を実施。更に名古屋支部や企業での演武を依頼されるなど、その活動ぶりは卒業後も衰えることがない。

略歴 ◆ 2013年8月 テコンドーに出会い競技を始める、10月 テコンドーサークルを設立、2014年6月 正式な公認団体へ認められる、10月 部室授与、2015年11月以降、全日本学生大会毎年総合優勝。

受賞歴 ◆ 初参加の大会から現在に至るまで、参加した大会全てにおいて入賞。2019年11月 第24回東海テコンドー選手権大会優勝、9月 第7回三重県テコンドー選手権大会準優勝、5月 第6回三重県テコンドー選手権大会優勝、2018年9月 ITF ワールドテコンドーカップ2018銅メダル、6月 第11回全国新人戦優勝。



ひびの りょうすけ
日比野 良祐氏 | 法学部法学科3年

第74回国民体育大会 スポーツクライミング競技成年男子ボルタリング 優勝

推薦趣旨 小学2年生の頃にクライミングに関する新聞記事などを読んで、同競技への興味・関心を持ったことをきっかけにクライミング競技に没頭した。

実力がついてきてからは、ジャパンカップなどに積極的に出場し、さらにボルタリングワールドカップに出場した経験も有している。

愛知大学進学後もクライミングに対する熱意が冷めることなく、勉学に励みつつ、滋賀県彦根市のクライミングジムを中心に、ほぼ毎日練習を続けている。

日比野君が秀逸なのは、どこかの組織に所属しているわけではなく、基本的に個人で練習しているにも関わらず、今年度の国民体育大会の岐阜県代表選手として世界大会で活躍することを目標に現在も日々の練習に励んでいる。

文武両道を実践し、国民体育大会における優勝をはじめとする実績は高く評価できることから、日比野君を推薦いたします。



● 優秀奨励賞

個人

くつな かずこ
荻名 和子氏 | 昭和46年文学部文学科卒

フリースクールで子ども達の社会自立支援（海と森の自然環境の中で）

推薦趣旨 愛知県公立小中学校教諭を30年務める。増加する不登校、ひきこもり、ニートの支援のために、早期退職してフリースクールを設立。多様な自然環境での子ども達の居場所づくりを通し、社会への自立支援を続けています。愛知県におけるフリースクールの先駆的な存在として、発達障害、アスペルガー障害、不登校、ひきこもり等の精神的問題を抱えた児童・生徒の社会的自立や健全育成に積極的に取り組み、東海地域に多大な貢献をし、小中学生、高校生、大学生、若者の就労支援、ひきこもり支援など年代を超えての切れ目ない支援を行っています。

尚、現在日本全国で小中学生の不登校者は16万4,528人に上るとされています。（文部科学省発表）

このように支援体制、生徒数増加に伴い、「特定非営利活動法人ゆずりは学園」として法人化し活動を東海地域へ広げ、2007年テレビ朝日全国放送「もうひとつの家族」後、問い合わせや相談は京都、静岡、群馬、長野、九州等に広がっています。20年間で1,600名近くの子ども達の支援を行い、全国的に貢献しています。

略歴 ◆ 1970年 愛知大学文学部国文学科卒業、教職に就く。2001年 早期退職、池の原フリースクール開校。2007年 テレビ朝日系全国放送「もうひとつの学校」。2008年 特定非営利活動法人ゆずりは学園設立。

受賞歴 ◆ 2011年 第31回「緑の都市賞」国土交通大臣賞。2013年 国際ソロプチミスト日本財団活動賞。2017年 第48回「キワニス社会公益賞」。2019年 第13回よみうり子育て応援団大賞。

著書 ◆ 2006年 フリースクール日記「もうひとつの家族 ドアのない部屋から」。2013年 発達障害対応マニュアル「異空間のドアを開けて」。



ながさか いずみ
長坂 泉氏 | 現代中国学部4年

2019年度江蘇杯中国語スピーチコンテスト中部・東海地区大会 大学生の部・中上級（スピーチ部門） 特等賞

推薦趣旨 候補者・長坂泉（現代中国学部4年）は昨年12月、本学名古屋校舎で開催された江蘇杯中国語スピーチコンテストの中上級（スピーチ部門）で特等賞を獲得しました。同コンテストは本学が南京大学・江蘇国際文化交流センターと共同で毎年開催してきたもので、2019年度は第5回目になります。（江蘇杯コンテストは現在、アメリカ、オーストラリア、タイ、ラオス、カンボジアでも開催され、日本では本コンテストだけです）。

参加資格は中部・東海地区にある大学および南京大学の友好大学4校（京都大学、奈良女子大学、静岡大学、津田塾大学）に在学する非中国語ネイティブの学生で、中国語学習歴、留学期間、中国語圏生活歴に一定の制限が設けられています。今回、中上級には8大学、14名の応募がありましたが、音声データによる予選を通過した13名が決勝に残りました。決勝では、何院大学・中国駐名古屋総領事館等の第3者によって構成された審査委員による厳正な審査の結果、最上位の特等賞（1名）に長坂泉が選ばれました。これは中国との深い関係を維持し、全国唯一の現代中国学部を擁する愛知大学の榮譽を高めるものと考えます。

候補者が同コンテストにおいて最高の評価を得たのは、本人の入学以来積み重ねてきた研鑽の賜物です。長坂は2年次に学内対象の外国語スピーチコンテストの中国語自由作文部門で第2位となり、3年時には年間北京第2外国語学院に留学して成績優秀により表彰を受け、昨年には中国語スピーチコンテストの特等賞の受賞により南京大学の大学院修士課程への進学資格が与えられることになり、本人は現在その準備を行っているところです。

長坂の今後の研鑽を激励する意味でも、彼女を奨励賞の対象としてここに推薦する次第です。

略歴 ◆ 2016年3月 名古屋市長西陵高等学校卒業。同年4月 愛知大学現代中国学部現代中国学科入学。2017年11月 愛知大学外国語コンテスト現代中国学部生対象 中国語自由作文部門第2位。2018年2月 中国北京第2外国語学院に2019年1月まで交換留学。留学期間中にHSK（新漢語水平考試）6級合格。2019年11月 HSKK（新漢語水平考試口語）高級合格。同年12月 江蘇杯中国語スピーチコンテスト中上級（スピーチ部門）特等賞受賞。



いとう こはる
伊藤 小春氏 | 短期大学部ライフデザイン総合学科2年

サービス接遇検定準1級 優秀賞受賞

推薦趣旨 候補者の伊藤小春は、文部科学省後援実務技能検定協会主催のサービス接遇検定において準1級に合格し、さらに極めて優秀な者に贈られる、準1級ではトップである優秀賞にも選出された。この賞は、全国の合格者2,681名のうち60名のみで与えられた賞である。

サービス接遇検定は「サービスマインドの育成」を掲げているが、2年次に1年生との合同授業に参加した際も積極的に1年生に話しかけるなど授業で学んだことを活かしている。

また授業の時も、教員の手伝いを自ら申し出るなど笑顔でいつも協力してくれる姿は下級生の模範となるものである。

学業も優秀で4月からは文学部への編入も決まっている。学部への編入後もそのサービスマインドを発揮し、学部生との交流も深め一層の活躍が期待できる。

以上の理由で、伊藤小春を学生活動顕彰（同窓会奨励賞）に推薦する。

略歴 ◆ 2018年3月 静岡県立浜松湖南高等学校卒業。同年4月 愛知大学短期大学部ライフデザイン総合学科入学。同年12月 聴き力検定3級合格。2019年8月 サービス接遇検定準1級合格、優秀賞受賞。



ながや れんか
長屋 恋佳氏 | 短期大学部ライフデザイン総合学科2年



サービス接遇検定準1級 優秀賞受賞

推薦趣旨 候補者の長屋恋佳は、文部科学省後援実務技能検定協会主催のサービス接遇検定において準1級に合格し、さらに極めて優秀な者に贈られる、準1級ではトップである優秀賞にも選出された。この賞は、全国の合格者2,681名のうち60名のみと与えられた賞である。

サービス接遇検定は「サービスマインドの育成」を掲げているが、就職先もサービス業を選び内定をもらっている。授業で学んだことを面接試験等でも十分に発揮している様子である。

4月からは就職先にてこの授業で身につけたサービスマインドを、実践で活かして活躍してくれると期待できる。

以上の理由で、長屋恋佳を学生活動顕彰（同窓会奨励賞）に推薦する。

● 優秀奨励賞

団 体

経営学部 田中ゼミ「ジョブズ」 | 大参 永遠・高尾 将吾・横江 知帆・
荒巻 茉南・林田 和也・白藤 瑠々

名古屋銀行 PBL 企画体験型 PG 最終発表会 最優秀賞（優勝）



推薦趣旨 本大会は、株式会社名古屋銀行と中部の6大学(本学、愛知淑徳大学、中京大学、名古屋学院大学、南山大学、名城大学)との人材育成における連携協定の一環として実施されたものである。今回のプログラムは、「キャッシュレス社会における、今後の名古屋銀行のビジネスモデルについて」提案するもので、5大学から代表の5チームが参加した。2019年10月19日（土）に名古屋銀行本店にて最終発表会が行われ、本チームは、VR（仮想現実）空間を作り、仮想通貨や企業の出展を集めるというビジネスモデルについてのプレゼンテーションを行い、審査の結果、最優秀賞（優勝）を獲得した。

本活動は、企業との連携に基づくPBL（問題解決型）プログラムとして、本学の課外活動の向上に貢献した。また、この活動については名古屋銀行HP等で広報された他、中日新聞、中部経済新聞、金融経済新聞等の各種新聞でも報道され、最優秀賞の受賞により、本学の栄誉を高めたと考えられる。

以上のことから、奨励賞に推薦いたします。

● クラブ愛知賞

団 体

名古屋市大学生消防団愛知大学分団

地域の防災力向上に貢献



推薦趣旨 2017年度に発足し、今日に至るまで、多くの地域防災活動に協力参加してきました。2018年度は愛知県下に数多くの大学分団の代表として大学生消防団長として任命を受けました。その後、本年度も名古屋市市内角小学校の教職員、郵便局職員、名古屋市民、他大学の学生を対象に救命入門コース、普通救命講習Ⅰ、消火器指導、AED、講習などを精力的に行ってきました。同時に防火防災の啓発・消防団の広報にも努め、各種イベントにも参加してきました。部員は常日頃様々な講習を受講し、日々の地道ながんばりがあってこそ今の活躍があります。大学生消防団は特別職（非常勤）の地方公務員のも該当し、地域防災活動支援を活発にするためには、今後ますます大学生、若者の力が求められると思います。

● 同窓会資格試験合格者奨励賞

司法試験



林 沙織
2016年度修了



平野 滋隆
2018年度修了

学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

概要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

給付金額

- ① 最優秀奨励賞：100,000円
 - ② 優秀奨励賞：50,000円
 - ③ 奨励賞：30,000円
 - ④ クラブ愛知賞：100,000円
- * 個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

申請時期

1月末まで

(学術・文化の部)

- ① 最優秀奨励賞：
全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ② 優秀奨励賞：
中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
- ③ 奨励賞：
上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体

(スポーツの部)

出願資格

| | ① 最優秀奨励賞 | ② 優秀奨励賞 | ③ 奨励賞 |
|---------------------|-----------|---------|---------------------|
| 国際・全日本大会（予選あり） | 優勝、準優勝、3位 | 4位～8位 | 出場者 |
| 国際・全日本大会（予選なし） | 優勝 | 準優勝、3位 | 4位～8位 |
| 中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会 | | 優勝 | 準優勝 |
| その他の大会 | | | 優勝 |
| マネージャー等 | | | 所属部の発展に貢献した者（卒業年次生） |

(社会貢献の部)

- ① クラブ愛知賞：
愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

必要書類

奨励賞推薦書

決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研修支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

同窓会資格試験合格者奨励賞

概要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

金額

30,000円相当の記念品

出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。

